

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	高血圧治療を目指した静岡県データベースの構築				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	森本 達也
	研究分担者	所属・職名	氏名	所属・職名	氏名
		薬学部・講師	刀坂 泰史	静岡市立静岡病院・病院長	小野寺 知哉
		薬学部・講師	砂川 陽一	市立島田市民病院・病院事業管理者	青山 武
		薬学部・助教	浜辺 俊秀	浜松労災病院循環器内科・部長	篠田 英二
		薬学研究院・博士1年	川瀬 裕斗	聖隷三方原病院・副院長	森田 達也
		薬学研究院・修士1年	稲井 恭子	清水厚生病院・副院長	森脇 秀明
		静岡県立病院機構・理事長	田中 一成	静岡市静岡医師会・理事	鏑木 敏志
	静岡県立総合病院・院長	小西 靖彦	国立病院機構京都医療センター・部長	長谷川 浩二	
発表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	森本 達也	

講演題目	高血圧治療を目指した静岡県データベースの構築
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>本研究の目的は、<u>静岡県の全医療機関と提携し、「高血圧治療データベース」を構築し、静岡県</u> <u>の健康長寿の秘密を検証することである。人口400万人の静岡県規模のデータが構築されれば、様々</u> <u>なエビデンスが創生されることが期待され、静岡だけでなく我国の医療・福祉に大いに貢献すること</u> <u>ができる</u>と考える。</p> <p>以下に臨床試験のプロトコルの要約を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目的：静岡県内で高血圧治療中の患者さんを対象に、降圧薬の使用状況、降圧薬の種類別、投与量別の降圧目標達成率の実態を調査する。 2. 参加医師：静岡県内の医療施設で、高血圧治療実施医 3. 調査対象疾患、対象症例 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象疾患：高血圧症 2) 対象症例：共同研究に同意していただける静岡県内の医療施設で降圧薬治療を行っていて、8週間以上投薬内容が変更されていない方を対象とする。 4. 登録方法：各施設の研究参加医師は、カルテから高血圧の病名のついた患者をリストアップする。 5. データ評価：『高血圧治療ガイドライン2019 (JSH2019)』に準じて行う。 6. 観察項目：以下の項目につき、カルテより情報を得る。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者背景：年齢、性別、最終受診日、喫煙歴、飲酒歴、自覚症状 2) 身体所見：身長、体重、BMI値、腹囲、体脂肪率、外来安静座位血圧、脈拍数（最近3回）、家庭血圧、脈拍数（朝・夕） 3) 既往歴、合併症 4) 採血項目：①脂質異常症、②糖尿病、③血漿BNP濃度、並びに一般項目、尿検査 5) 投与薬物：i) 降圧薬：薬物名、投与量、投与回数、投与時間（朝昼夕眠前など） ii) 合併症治療薬：薬物名、投与量、投与回数 iii) 処方医師名 <p>本研究では、静岡県内の医療施設にて、高血圧症にて治療を受ける患者さんのデータを集積し、高血圧のコントロール目標達成率をさまざまなパラメーターをもとに解析し、高血圧症へ役立たせることである。この研究を通じて、静岡県の医療スタッフが 医師・看護師不足の中、どのようにプライマリケアを充実させ、健康長寿県静岡を支えているかも明らかになることが期待される。このような<u>県レベルでの大規模な臨床データベースの確立は例がなく、我国の医療・福祉に貢献できるだけでなく、研究成果も世界に発信していける</u>ことが期待される。また、<u>高血圧症治療のガイドライン作成にも役立つ治療戦略に関するエビデンスの確立にもつながる</u>ことが期待される。</p>